|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **会場名** | | **サブリーダー**  **役職　　　　　　　　　氏名** | |
| 大阪国際会議場 | | 地区職業奉仕委員会 | 荒金正之 |
|  |  |  |  |
| **リーダー　役職・氏名** | |  |  |
| パストガバナー | 松本進也 |  |  |
|  |  |  |  |
| **議事録作成者** | 委員　森川晃夫 | | |

|  |
| --- |
| 開会：（15時40分） |
| 発表者：パストガバナー・リーダー　松本進也　　　　　　　　　　　　　　　　（15時42分） |
| 【記録内容】開会挨拶ならびにロータリーの基本理念について  ・冒頭近藤太郎委員長のおかげでペーパーレス化が進み事務局の負担が減ったことに感謝  ・ロータリーとは奉仕する人を育てる団体である  ・「職業奉仕」はロータリー固有の考え方であり誇りである  ・職業奉仕こそが我々ロータリーの金看板であり、ロータリーの根幹精神であると考えられている  ・ロータリー活動の最も大切な基盤となる活動はクラブ奉仕、その青少年奉仕、社会奉仕と国際奉仕は広い意味では職業奉仕に含まれるものであると  ・職業を通じたボランティア活動を重視している  ・日本語の「奉仕」は「自己犠牲」のような、「一方向的な」意味だが、本来の英語のserviceは「相互的な」意味であり「単なる奉仕団体」ではなく、「奉仕する人を育てる団体」と定義づけることにも相容れる。私たちは単に”service”を提供するだけではなく、”service”を提供する行為そのものが我らを成長させる  ・職業奉仕に関する制定案について、第2660地区からは2件の制定案が出ております。  まず１つ目は、標準ロータリークラブ定款の第7条第1節の例会について、会員の葬儀、全地域社会における流行病もしくは災害が発生した場合、または地域社会での武力紛争がある場合は、年4回までの例会取りやめや、3回を超えて続けての取りやめ条件を適用しない。  続いて２つ目は、標準ロータリークラブ定款の第11条第5節のクラブ役員の選任の方法を「選挙」ではなく選挙での選出も含め、より広義の「選出」という表現に置き換える  ・自分と自分の事業のレベルアップを図り、ロータリアンとして、超我精神を実践してほしい  ・皆様お一人お一人がこの職業奉仕と言う金看板を背負って、職業奉仕の名の元、確固たる理念の  基に有意義な活動を推し進めて頂きたい  ・本日の有意義な内容をクラブに持ち帰って卓話などで広め、全員に理解を深めるようにして頂きたい |
| 発表者：委員長・サブリーダー　荒金正之　　　　　　　　　　　　　　　　　　（16時00分） |
| 【記録内容】次年度活動方針・活動計画  ・委員紹介（総勢18名）  ・2025‐26活動方針発表  　職業奉仕の理念の基本的な考え方は、職業における高い倫理性と職業における社会への貢献意識である。RIの方針や表現は少しずつ変化しているが、この基本的な考え方は変わらない。  クラブ会員の皆様に、職業奉仕の理念を深く理解して頂き、意義ある奉仕を実践してもらうための支援を行う  ・クラブ委員長への支援としての2025‐26活動計画発表   1. クラブ委員長会議（2025年9月20日）於：大阪YMCA国際文化センター   地区委員会による職業奉仕についてのプレゼン  他クラブの奉仕の実践例紹介  グループディスカッションによる情報交換会   1. クラブ委員長卓話実施のための講習会（2025年11月19日）於：ガバナー事務所   9月のクラブ委員長会議のプレゼンを卓話モデルとして、クラブ委員長が卓話を実施してもらいやすいように解説する。希望者の参加。地区からの出張卓話は行わない。   1. 奉仕の実践   職業上の手腕を 社会の問題やニーズに役立てるために 何ができるのか  　　　　各クラブの活動情報を収集し、今後の活動に活かすための研究を行う |
| 発表者：副委員長　冨川和將　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（16時15分） |
| 【記録内容】2024-2025年度　クラブ委員長会議実施報告  ・次年度の活動内容をイメージしやすいように、本年度の活動実施報告を写真付きで報告  ・2024年10月5日　大阪YMCA国際文化センターで実施された  ・ロータリークラブ創設以来大切にされて来た職業奉仕についての考え方を中心に卓話モデルとして発表、その模様の紹介  ・グループディスカッションによる情報交換会の様子を紹介  ・Liveアンケートの実施により会場は盛り上がった  ・ペーパレス化の実施  ・地区職業奉仕委員会はこれからも「実践する職業奉仕」を表現していく |
| 発表者：副委員長　奥村隆司　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（16時20分） |
| 【内容】2024-2025年度　クラブ委員長卓話実施のための講習会実施報告  ・次年度の活動内容をイメージしやすいように、本年度の活動実施報告を写真付きで報告。  ・2024年11月20日　ガバナー事務所で実施  ・参加者　ZOOM参加9クラブ9名　現地参加13クラブ13名　合計22クラブから22名　ZOOM参加を募った今年度は参加人数が倍になった  ・委員長会議でのプレゼンを卓話モデルとして、「日常における理念の実践」を中心に解説した  ・卓話講習会は職業奉仕委員長ご自身がクラブ内で職業奉仕の卓話を実施され、かつ職業奉仕の理念、標準的な考え方を再確認し、ロータリーの根幹であるといわれる、職業奉仕の理念を積極的に学び、クラブ一丸となった奉仕活動を実践して頂きたいという思いで開催したものである  ・職業奉仕月間における地区委員会からの卓話派遣は行いません  ・2025年11月19日にガバナー事務所にて卓話講座を開催予定  ・卓話講座終了後、希望者には補習も行なっているので、積極的な参加をお待ちしている |
| 発表者：副委員長　戸田佳孝　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（16時35分） |
| 【内容】職業奉仕の実践例の紹介と４月17日出前授業への参加の願い  ・自分自身を律し事業を行うことが職業奉仕の王道  ・職業奉仕の理念は日本の古来からの商売の理念と一致していた「三方よし」  ・2016年にRIの定款に「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」が職業奉仕に追加された。この1文が追加されてから理念の職業奉仕とともに実践の職業奉仕が推奨されるようになった  ・大阪中之島ロータリークラブではロータリークラブの特徴である職業奉仕を公共イメージの向上に役立て、ひいては会員増強に役立てようと考えた  ・具体的な方法としては朝日新聞社に医療出前授業の企画を持ち込み無料で朝日新聞に掲載  ・令和２年９月には中之島単独で、令和4年4月東南RCと共同で、令和5年と6年の4月には豊中RCと共同開催。会場は中之島フェスティバルビル18階朝日カルチャーセンター。毎回、Web参加を合わせると200名以上が参加  ・講演会は60分　内15分をロータリーの宣伝に使える  ・セミナーの利点　カルチャーセンターの利用料が無料、新聞掲載料が無料、講師料が無料、ロータリーの宣伝ができる　※参加料は3,740円かかる　これはまさしく「三方よし」である  ・第5回目の出前授業は４月17日午後３時から大阪中之島フェスティバルタワー12階の朝日カルチャーセンターで開催。電話番号は6と5以外ほとんど2の0662225222。こちらに電話をしていただき、登録していただければ、振込用紙が後日送られてくる。是非、多くのロータリアンのご参加願いたい |
| 質疑応答者：委員長　荒金正之　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（16時50分） |
| 【内容】事前アンケートにて、いただいていた質問に対して、回答した  ・「職業奉仕としての活動は　どの様にしたら良いのか」と言う質問に回答した。  ・職業奉仕について日本と国際ロータリークラブの考え方の違いや共通点を  説明した  ・地区職業奉仕委員会として1年間行う活動の中で職業奉仕の在り方について考えていく |
| 閉会挨拶：副委員長　武枝敏之　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（16時55分） |
| 【内容】  職業奉仕は難しい、よくわからないというご意見がやはり多い。  これまでは、理念といった抽象的な話を中心に委員会を行ってきたが、わかりやすい職業奉仕を目指すにはどうすればいいかということを考え、この2～3年進めてきた。  Liveアンケートの導入やペーパレス化は委員会とって大きな変革であったと思う  本日の内容をぜひご参考にしていただき、委員長様の各クラブでのご活躍を祈念している  我々も、今後の活動に反映できるよう委員会を行っていきたい。  本日は誠にありがとうございました |
| 閉会（17時00分） |

**備考・メモ**

|  |
| --- |
| 司会　西村智子  議事録　森川晃夫  タイムキーパー　田中商人  写真　濱中眞希子  鐘　近藤亘 |

**2024年5月10日（金）までにWordのままメール添付**でお送りください。

**返信先：ガバナー事務所（栗正）　E-mail：**[**kurimasa@ri2660.gr.jp**](mailto:kurimasa@ri2660.gr.jp)